

事務事業評価表

○基礎情報

課名		景観みどり課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	44	美しい景観を形成し、命をはぐむみどりを保全・再生・創出する	関野 達夫	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				2 人	9 人	1 人	0 人	0 人	11.64 人	827 時間	7.7 時間

1 施策指標と実績 (Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H28年度	H29年度	H30年度
市域面積における緑地面積率	18.21%	22.00%	18.21%	18.28%	18.28%
景観資源の指定件数	34件	37件	34件	33件	33件
みどりの保全活動につながる講座等への参加人数	29人	60人	29人	9人	107人

(施策のねらい)

1	地域特性を生かした景観の形成
2	みどりの保全・再生・創出
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(平成30年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H29予算(円) H29決算(円)	H30予算(円) H30決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生ま れた成果・効果)	事務事業の指標	H30目標値	H30実績値	評価	取組 時間	事務 改善	休・ 廃止
1	景観計画推進事業	1	1.20	一般	5,559,400 5,308,508	6,888,000 6,754,099	本市で行われている様々な調査や、市民意見交換会、パブリックコメントを行うことにより、近年の社会情勢の変化、生活スタイルの変化に対応した計画の改定を行うことができた。		景観計画の改定及び進行管理	改定完了	改定完了	S	変動なし			
2	景観資源の指定と維持保全	1	0.47	一般	0 0	0 0	眺望、樹木、建造物など本市の景観形成上重要な資源を、定期的に観測することにより、維持保全することができた。		指定件数(累計)	34か所	33か所	S	変動なし			
3	公共サインガイドライン推進事業	1	0.60	一般	14,793,600 13,432,414	2,560,000 2,519,490	設計業者に委託により、茅ヶ崎市公共サインガイドラインに基づき、ユニバーサルデザインに配慮した、サインの仕様を決定できた。		公共サインの整備エリア	サイン仕様等の検討(歴史文化交流館周辺)	サインの配置・仕様を決定	S	変動なし			
4	鉄砲道の沿道景観形成事業	1	0.70	一般	21,142,000 17,122,144	30,230,000 18,190,440	建設業者に街路樹リニューアル工事を発注することにより、市街地の延焼遅延効果を向上させ、海岸エリアの都市景観の軸となる空間をつくることができた。		リニューアル区間	2.1km	2.1km	S	変動なし			

5	違反屋外広告物除却事業	1	0.40	一般	1,123,000 1,107,995	703,000 698,774	シルバー人材センターに委託することにより、違反屋外広告物を除去し、都市の良好な景観を維持するとともに、歩行者等公衆に対する危害を防止することができた。	違反屋外広告物の除却件数(年間受理件数)	50件	46件	S	変動なし		
6	民有地緑化推進事業	2	0.52	一般	500,000 400,000	300,000 300,000	生け垣を築造した市民に補助金を支給することにより、市街地にみどりを増やすことができた。	制度の利用件数	7件	1件	C	変動なし		
7	みどりの保全等に関する条例の運用事務	2	0.74	一般	38,122,000 36,917,486	37,162,000 34,739,416	保存樹林、保存樹木等のみどりの保全等に関する条例に位置づけられた制度を活用し、市内に残された貴重な自然環境の保全することができた。	制度の指定件数	54箇所	58箇所	S	変動なし		
8	自然環境評価調査業務	2	0.37	一般	5,724,000 5,724,000	0 0	概ね5年毎に実施する自然環境評価調査に備え、市民を対象に調査員を養成するための講座を実施し、多くの市民に自然環境に対する理解を深めてもらうことができた。	調査や保全活動に関する研修等への参加者数	60人	107人	S	変動なし		
9	茅ヶ崎市緑のまちづくり基金の充実	2	0.61	一般	1,524,000 1,523,561	1,060,000 1,059,487	良好な自然環境を形成している緑地の取得や維持管理を進めるための基金の充実を図るため、ふるさと納税などによる寄付を募った。	緑のまちづくり基金の積立額	370千円	1,060千円	S	変動なし		
10	特別緑地保全地区指定の推進	2	0.76	一般	34,023,000 32,211,516	38,684,000 34,876,669	特別緑地保全地区の指定や指定地内の民有地の買取を行うことで、貴重な自然環境の保全をすることができた。	特別緑地保全地区指定累計箇所数	2箇所	2箇所	S	変動なし		
合計				H30予算(円)		117,587,000								
				H30決算(円)		99,138,375								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課かいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

景観みどり課の平成30年度の事務事業数は「庁内共通事務」「災害応急対策活動」を除き16事業であり、うち政策的事業の事業数は10事業である。政策的事業の評価結果は、「S」9事業、「C」1事業となっている。

指標の達成状況に着目すると、80%以上達成できなかったものは1事業(6)、概ね順調に事業が実施できたと考えている。

2「景観資源の指定と維持保全」については、景観資源に指定していた樹木について、所有者の意向により伐採されたことにより減となった。今後、新たな資源の指定を進めていく。

6「民有地緑化推進事業」については、実績の1件で予算を使い切ったため利用件数が減となった。これについては制度を見直し、令和元年度、事業を実施していくことから、成果は今後見込めるものとした。

No.7「みどりの保全等に関する条例の運用事務」の指標としている保存樹林助成事業については、30年度中においても相続等の理由による2件の解除があり減少が続いているが、1件の新規追加があり、約800㎡の減少となっている。

No.8「自然環境評価調査業務」については、30年度末までに改定が完了した「茅ヶ崎市みどりの基本計画 生物多様性ちがさき戦略」において課題として取り上げた新たな人財確保、育成への対応として連続講座を開催し、目標を上回る述べ107人の参加を得た。なお、募集に当たっては新たな試みとして市内中学校へ広報し、中学生1名の参加を得た。

職員の総時間外は827時間、一人当たり月平均7.7時間となり、前年度と比較して総時間は361時間減少、一人当たり月平均は3.3時間減少することができた。月初に、各担当でスケジュール表を作成し、その月行う大まかな仕事と、目標とする状況を確認し、問題があれば調整するなど、業務量の平準化に努めた成果であると考えられる。

地方創生や行政拠点地区、道の駅など、茅ヶ崎のまちのイメージを決定づける公共事業が予定されている。公共空間は、生活者(市内外の方)にとっての生活の場であり、生活者それぞれが、訪れて楽しいか、住みやすいかなどを決定する基準である。ここで、茅ヶ崎らしい公共空間を作っていかなければ、茅ヶ崎の魅力や価値、ブランド力は今以上に高まらないと考えている。

30年度に改定作業が完了した景観計画及びみどりの基本計画では、「茅ヶ崎らしさ」を再確認する基礎調査のとりまとめを基に、基本計画の理念、目標、具体の施策に反映を行った。この計画を基に茅ヶ崎らしい事業が計画に基づき行えるように、市民、事業者や庁内各課と連携して、事業を進めていきたい。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は -)	事務改善の内容
-	-	-
-	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は -)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	第4次実施計画策定時に、1事業を廃止、1事業を休止している。次期総合計画に向けて、さらなる事業の整理が可能か、既存の事業の成果を踏まえながら検討していく期間とする。
-	-	-

6 働きかたの見直しにおける取り組み結果(28-30年度の3か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

取り組みの結果
この3か年で、本課が所管する「茅ヶ崎市景観計画」及び「茅ヶ崎市みどりの基本計画」の改定があり、改定作業に着手した平成29年度は時間外が増加したが、業務管理を徹底することで、改定作業を完了した30年度は時間外を減らし、28年度の水準まで戻すことができた。
主な取り組みとしては、年次有給休暇の取得促進(マイ・ライフ・デー)、ノー残業デーの徹底などがあるが、その取り組みを可能とする環境づくりが重要と考える。特に、担当職が管理職に相談しやすい雰囲気をつくり、近くに相談できるスペースを作ることで、対話が増え、効率的な事務処理につながっているものと考えられる。今後も、その取り組みを続けていきたい。